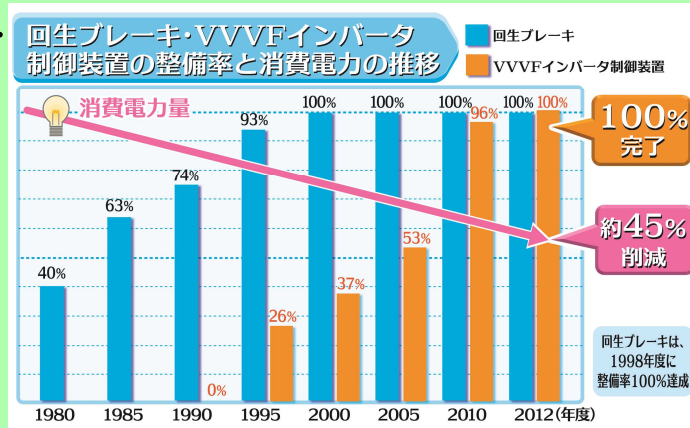


京王電鉄株式会社（東京都多摩市）

軽量化車両、回生ブレーキ、VVVF装置の導入等により、省エネ化を推進した。回生ブレーキとVVVF装置の導入率100%は、大手民鉄16社で最初に達成。そのほか、上下一括き電化、駅舎補助電源装置、回生電力貯蔵装置の整備等により省エネに取り組んでいる。

（取組みの概要）

回生ブレーキ・VVVF装置の整備率と消費電力の推移



■車両の省エネルギー化

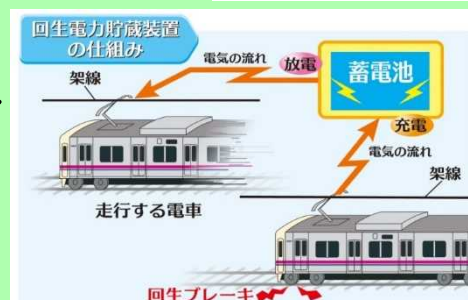
- 軽量化車両、回生ブレーキ、VVVF装置の導入。**回生ブレーキ、VVVF装置の導入（大手民鉄16社で初めて導入率100%達成）により、消費電力を約45%削減。**
- 車内照明のLED化**により、年間で一般家庭の約400軒分（150万kWh）の電力削減（見込み）。
- 回生電力貯蔵装置の導入**により、年間で約140軒分（48万kWh）の電力削減。
- 駅舎補助電源装置の導入**により、年間で約70軒分（24万kWh）の電力削減。

回生電力貯蔵装置

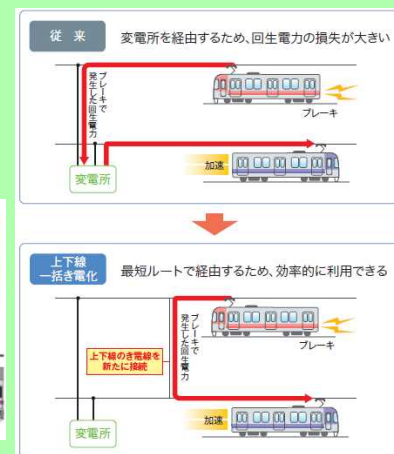
駅舎補助電源装置

■その他の取組

- 上下一括き電化。**
- 駅や車両基地に太陽光発電システムを導入し、照明や自動券売機等に活用。
- 環境に配慮した現業事務所を開設。
- その他、冷凍機の効率化、リサイクルによる廃棄物削減、車両基地・工場における節水、駅トイレの節水、清掃用シンナーの再利用、植樹活動、山川の清掃活動、沿線の緑化、等を実施。



上下一括き電化



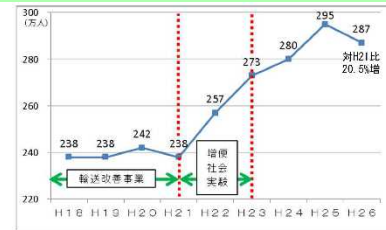
姫新線利用促進・活性化同盟会（兵庫県たつの市）

行政と鉄道事業者が一体となりクルマから環境負荷の小さな鉄道への利用転換を図る取組であり、平成22年度から2年間の社会実験を経て増便運行を継続している。26年度には21年度比で利用者数約20%増を達成した。 ※同盟会の構成団体は、たつの市・姫路市・佐用町・兵庫県、オブザーバー：JR西日本

（取り組みの概要）

利用者数の増加

■乗車人数が減少していたJR姫新線において、行政がリーダーシップを発揮し、**クルマから鉄道への利用転換を促進**。同盟会の会議を月1回開催し、独自の乗降調査を元に利用促進策を検討。



▶平成23年度（増便試行時）の乗車人員は年間273万人
▶増便試行終了後も、乗車人員は増加基調が継続し、平成26年度は、乗車目標年間300万人にせまる287万人を達成



■**新型車両の導入、駅舎及び周辺駐車場の整備、バスアクセスの充実、パーク&ライド利用者への助成等の利用促進施策を展開し、平成22年3月から2年間の増便運行社会実験を実施。**

■その他、列車内ライブ号、車両基地見学会、沿線観光スポットを紹介した冊子、ティッシュ・チラシ配布、駅前青空市場・物産展の実施、フィーダーバスの試行的増発・乗継のための時刻表作成、等を実施。

■社会実験後も増便運行を継続し、平成26年度には21年度比で**利用者数20.5%増を達成**。

駅舎及び周辺整備



バス乗継時刻表



増便試行

PRパンフレット

